



山直南まつり

子どもたちの自主的、創意に満ちた活動を

昨日7日は子どもたちが楽しみにしていた山直南まつりでした。

1年生から6年生の子どもで編成したたてわり班による活動です。赤白4班ずつ、全部で8班です。各班6年生がリーダーとなり、どんな出し物をするのか、話し合いによって自分たちで決めます。準備物や役割分担も子どもだけで決めます。5月7日から本番当日まで約1か月間取り組んできました。この山直南まつりは、

- 児童の自主的、創意に満ちた活動を通して、児童相互の親睦を図る。
- 異年齢間の交流を通して児童の思いやりの心やリーダー性を養う。

という2つのねらいで実施しているものです。私も全ての店をまわり、出し物を体験しましたが、子どもの姿・様子から、上記のねらいを達成するためのよい取組みができていたと感じました。

班	チーム名	お店(出し物)
赤1	クレヨンしんちゃん	スーパーボールつかみ
赤2	にこちゃんあひる	カーリング
赤3	マリオ	?ボックス
赤4	すし	宝さがし
白1	コマさん	キッキングスナイパー
白2	キノピオ	キャラクター当て
白3	オラフ	ストラックアウト
白4	ドナルドダック	ボーリング

出し物は、左の表に記載の通りです。楽しく活動ができるように工夫されていて、子どもたちはもちろん、大人の私も十分に楽しめる内容でした。チーム名もそれぞれユニークで楽しいものを考えています。



さすが高学年だなと思う場面に何度と出会いました。低学年の仲間に対して「大丈夫?」「行くで!」と声をかけて、リーダーシップを発揮していました。低学年や中学年の子もたちも、お店に来たお客さんのカードにスタンプを押したり、お客さんにルールの説明を行ったりと、きちんと自分の役割を果たしていました。



子どもの主体性や思いやりの心を育むには、今回のように人と関わり、知恵と力を合わせて一つのものを創りだしていくような活動など、豊かな体験が欠かせません。山直南まつりで見られたキラッと光る良さを、今後も伸ばしていきたいと思えます。

昨日は子どもたちからこの行事の内容を聞かれた保護者も多かったことでしょう。まだの方はぜひどんな様子だったか、お話を聞いてあげてください。明後日の授業参観でも、頑張っている姿を見つけていただければうれしいです。大阪府警音楽隊の演奏や防犯のお話もあります。多くの皆様のご参加、よろしくお願いいたします。